

家庭ごみ有料化

相当額の使い途

家庭ごみの有料化について、シリーズ①では導入の背景や目的などを、シリーズ②では家庭ごみ処理手数料の「性格」を中心にお知らせしました。

今号では、「ごみ減量対策など環境施策に活用している」「家庭ごみ処理手数料相当額」の使い途についてご説明します。

「相当額」の考え方

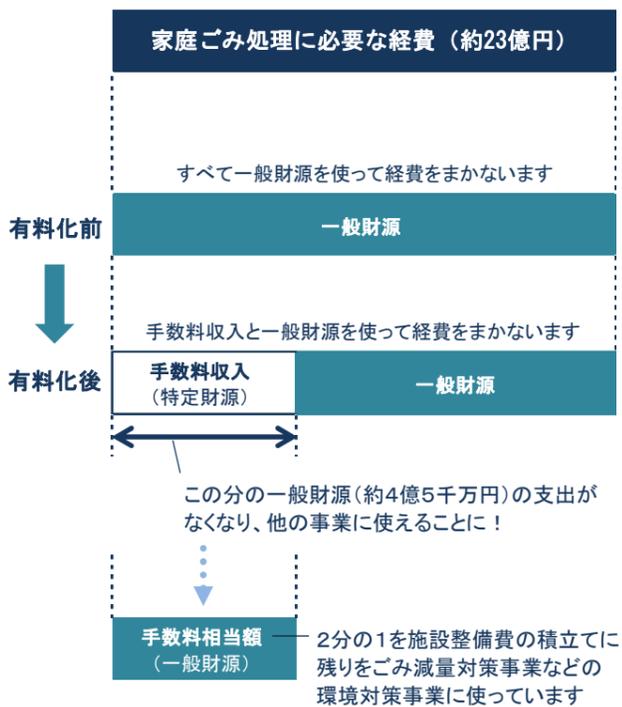
家庭ごみ処理手数料相当額の使い途についてお話しする前に、シリーズ②でご説明した「相当額」の考え方について、改めて触れておきます。

有料化を開始するまでは、市税や国からの地方交付税などの「一般財源」をごみ処理経費として支出していましたが、家庭ごみ処理手数料が歳入となったことで、その手数料分の一般財源の支出がなくなり(※)、他の事業の費用として活用できるようになりました。

※家庭ごみ処理手数料の年間収入約4億5千万円の全額を「特定財源」として、家庭ごみ処理経費約23億円の一部に充てており、家庭ごみの収集運搬業務委託経費などに使っています。

他の事業の費用として活用できるとなった一般財源(二

◆手数料相当額って?◆



「ごみ減量対策9事業には1億1千万円を活用

平成29年度の手数料相当額の予算4億5千万円の活用予定は次のとおりとなっています。

ごみ減量対策事業では、古紙回収の促進・支援(2千563万6千円)、集団回収の普及促進(1千581万2千円)、家庭ごみ処理手数料収納管理関連経費(1千513万1千円)、資源化物の祝日収集(1千397万5千円)など9事業(1億1千233万6千円)で活用することとしています。

その他の環境対策事業では、「地球温暖化対策」として、再生可能エネルギー導入支援事業(2千313万5千円)、情報統合管理基盤運用経費(2千460万9千円)、地域ESCO事業(816万5千円)など11事業に、「生活環境の保全に寄与する事業」として、水銀含有ごみ収集・処分経費(2千194万2千円)、微小粒子状物質(PM_{2.5})成分分析

業務委託(815万3千円)など3事業に、合計で1億1千266万4千円を活用することとしています。

予算と決算の差額は地域振興基金へ積立て

また、決算認定の際に、予算額と決算額に差が生ずる場合がありますが、その差額は後年度の家庭ごみ減量のための対策事業と、その他の環境対策事業に活用するため、秋田市地域振興基金に積み立てています。

平成29年度は、地域振興基金の積立てから、森林環境保全整備事業(1千49万4千円)や大森山公園整備事業(照明のLED化。925万円)など6事業、3千591万9千円を活用予定です。

相当額の使い道を「見える化」しています

手数料相当額を活用した事業などの予算額と決算額については、予算案の提出および決算の認定の都度、広報あきたやインターネットに公表すること(いわゆる「見える化」)を条例で定めています。

平成29年度家庭ごみ処理手数料相当額の使い途(予算額)は、広報あきた平成29年4月21日号に、平成27年度家庭ごみ処理手数料相当額の使い途(決算額)は同じく平成29年2月17日号にそれぞれ掲載しています。

また、環境都市推進課ホームページでは、過去の予算・決算が確認できます。

*シリーズ「もうすぐ5年 家庭ごみ有料化」は今号で終了します。

寒い季節は油漏れにご注意を!

環境保全課 ☎(888)5711

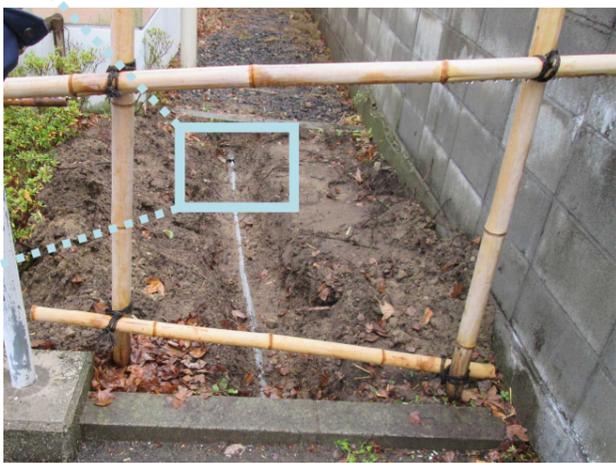
寒い季節を迎えました。例年この時期は、灯油などの油類を扱う機会が多くなり、燃料タンク等から油が流出する事故が多発しています。事故件数は昨年度は16件でしたが、今年度は10月末現在で、既に16件発生しています。

事故の原因を調べてみると、「ホームタンクから建屋までの配管が破損していた」「作業時に地下埋設管を破損した」「積雪・落雪により配管が破損した」などのほか、「ホームタンクから油を小分けしている途中で元栓を開けたままその場を離れた」といった「不注意」が原因で事故になった例も多く見受けられました。事故を防ぐため、油類の管理には細心の注意を払うとともに、次のことに心がけましょう。

- ・配管や防油堤に亀裂がないか、こまめにチェックしましょう。
- ・作業をするときは地下埋設管の位置をあらかじめ確認しましょう。
- ・タンクの減り具合を定期的に点検し、異常を感じたときは専門業者に相談しましょう。

*火災の危険性が疑われる場合は消防本部予防課へお問い合わせください。

☎(823)4247



冬囲い用の杭を打つ作業(写真右)で、誤って保護管の上から油配管を破損させてしまったもの(写真上)。作業は慎重に行いましょう。

今年度3回目の開催! ごみ減量アクション

市民のみなさんが楽しみながら、改めてごみの減量について考えるきっかけとなるような講座や情報提供を行う「ごみ減量アクション」を11月18日(土)、にぎわい交流館AUで開催します。

恒例のガラポン抽選会のほか、「スターバックス コーヒー秋田駅店のバリスタが教えるおいしいコーヒーの淹(い)れ方とコーヒーにまつわる環境の話」と題し、実演を交えた講座(試飲あり)も開催。ぜひマイカップを持ってご参加ください。申込み方法など、詳しくは広報あきた11月3日号をご覧ください。

環境都市推進課 ☎(888)5708



来てくれたかたに「あきエコどどんポイント」を3ポイント進呈。詳しくは会場で!(写真は7/29のにじみ染め風呂敷づくり講座)